

## 推進体制

### ● 目標の達成に向けて

環境問題は、区民の生活や事業活動に密接にかかわる問題です。目標の達成には、区民・事業者・区の各主体が連携・協力しながら対策に取り組むことが必要です。



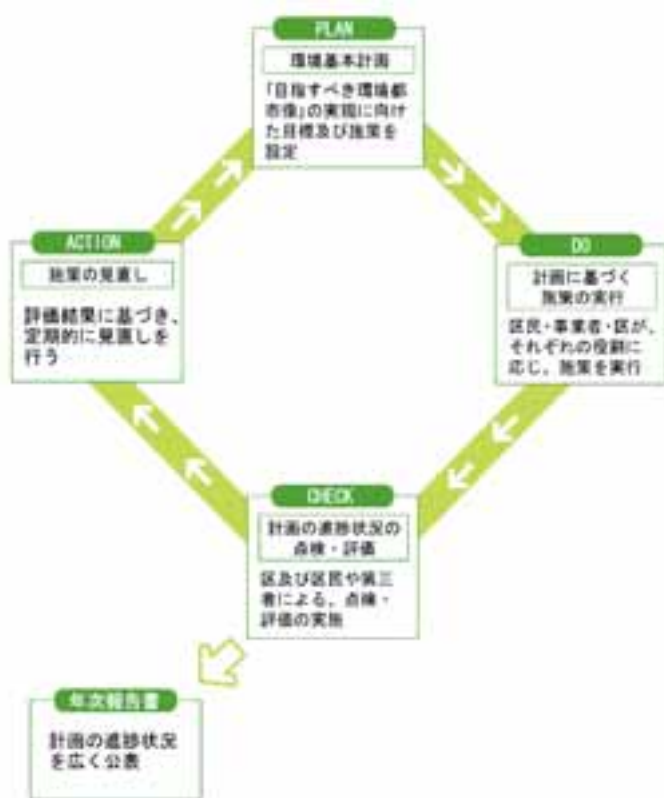
### ● 進行管理

PDCA サイクルに則った継続的な点検・評価・見直しを実施します。

- 環境基本計画 Plan
- 計画に基づく施策の実行 Do
- 計画の進捗状況の点検・評価 Check
- 施策の見直し Action

進捗状況の点検・評価は、区の庁内横断的組織である「環境都市づくり推進本部」で実施します。

また、区民や第三者による点検・評価も行えるようにします。



## 第三者意見

「エコのわ」編集員 菊池 泰子  
(豊島区在住)

環境情報誌「エコのわ」の編集や、区内の小学校でのヤゴリーダーとしての活動を通じ、地域の環境事業に関わっています。実は今回初めて年次報告書に目を通しました。環境と言っても幅広く、実に多くの事業が行われていますが、私自身知らなかったことが多く、せっかくの取り組みが区民には知られていないのではないかと思いました。エコライフフェア等のイベントや図書館等公共施設での閲覧・配布を通して積極的に呼びかけ、もっと活用されてほしいと思います。

また、東日本大震災における原発事故の影響により、電力不足や放射能汚染に対する不安が高まりました。電力に関しては、国全体での節電の呼びかけにより、目標値の達成が果たしているのではないかと思う反面、これまでいかに無駄が多かったかということを感じました。また、目に見えない放射性物質に関しては、専門機器による測定で得られる数値から判断するしかなく、保育園・学校給食の安全性や、被災地のがれきの焼却など、本当に大丈夫なのだろうかという不安は常にあります。引き続き情報を見守って行きたいです。

緑の少ない豊島区ですが、植樹や緑のカーテンなど、緑が目に入る機会が少しずつ増えて来たように感じます。先日も小学校の植樹に立ち会いましたが、地域の方に手を貸して頂きながら、子どもたちが1本ずつ丁寧に苗を植えている姿は微笑ましく、子どもたちの成長と共に緑の成長が楽しみです。学校や地域での緑は増えて来ていますが、街路樹など日中出歩く際に日差しを遮る場所が増えたらと思います。屋上緑化や接道緑化も、積極的に取り組む事例が増え、点から線、面へと広がることを期待したいです。暑い日には打ち水を実施している場もよく見られるようになりました。昔ながらの打ち水は、気化熱による効果だけでなく、打ち水をする姿も風情があり良いものだと思います。

ごみ量の推移からは、家庭ゴミの量は少しずつ減っているようですが、埋め立て地の現状や焼却のエネルギーを考え無駄のないゴミを減らす生活の工夫が必要だと感じます。CO<sub>2</sub>の排出量はまだまだ努力が必要です。削減目標と共に、

具体的な取り組みの事例などもアピールできたら良いのではないかと思います。

リサイクル、緑化、美化など、どの活動も地域を巻き込んでコミュニティ形成にもつながることが、長く続くポイントにもなっているように思います。ひとりひとりに出来ることは本当に些細なことですが、日々の小さな積み重ねが未来の豊島区の環境に影響していることを自覚し、生活の中で取り組んでいきたいです。

### ご意見を受けて

清掃環境部長 鈴木 公一

菊池様からは、地域の様々の環境活動に関わっている区民の立場から、貴重なご意見をいただきました。東日本大震災が、電力不足や放射性物質に対する不安など、現在も区民の皆さんの日常生活に少なからぬ影響を与えているのはご指摘のとおりです。ご意見にありますように、電力不足はこれまでの電力使用について見直す大きな契機となりました。また、放射性物質に対する不安を解消するために、区は全庁を挙げて測定体制をとり、その数値を公表してまいりました。

緑化を例に、「地域を巻き込んでコミュニティ形成につなげていくことが、長く続くポイント」とのご指摘もいただきました。ごみの減量やリサイクルも、区民の皆さんのご理解やご協力なしには、進めていくことができません。より広範な方々の参加をいただき、事業効果を高めるために、事業の周知や実施方法などに更なる工夫が必要であると感じました。

CO<sub>2</sub>の削減など、環境に関する課題は山積しています。様々な取組事例を掲載した本年次報告書が、多くの方々に活用いただければと思います。今後共、皆様のお力添えをお願いいたします。